



# ネイチャーセンターだより

2021年1月号

## 新・いきもの図鑑



## ハギマシコ (アトリ科)

スズメより少し大きい黒っぽい小鳥で、地面の上ではあまり目立ちませんが、おなかや翼にある萩の花のような赤紫の部分が雪の上では美しく見えます。「ビュイ、ビウ」といった甲高い声や、首のうしろの黄色っぽい部分、地面から飛び立つ大きな群れで気づくこともあります。

根室には何年かおきにおき渡ってきて、冬、春国岱などの海岸の岩場や崖地の周囲で数羽から数十羽の群れで草の実を食べていることが多いのですが、港湾施設や林の中にもいます。夏はロシアの東部や山岳地帯や海岸の岩場に住み、岩のすき間に巣を作りひなを育てます。日高山脈や大雪山系、利尻岳では夏に見られることもあります。

### 【参考文献】

中村登流他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑: 230. 保育社.  
ゲラシーモフ, N.N. 2000. 極東の鳥類 25: 105-112.

## 2020年秋のオオハクチョウ調査の結果

2020年の秋に行ったオオハクチョウ調査結果がまとまりました。4回の調査の中で最も個体数が多く確認されたのは、11月16日の1,788羽(成鳥1,578羽、幼鳥201羽)で、例年通り、11月中旬にピークを迎えました(図1)。ただし今年は、全体的に渡りが遅かったと思われる。11月中旬の数が同時期の過去5年の平均と比べやや多く、そして、10月下旬の確認個体数が少なかったためです。

2002年度からの最大確認個体数は、減少傾向にあります(図2)。一時は風蓮湖内で7,000羽をこえることもありましたが、ここ3年は、1,500羽ほどです。北海道東部では他にも同じように減少している渡来地が複数ありますが、日本全体で冬を過ごすオオハクチョウの数は減っていません。この原因はまだわかっていませんが、採食習性や渡りコースの変化によるものではないかと考えられています。

※調査時の鳥インフルエンザへの対応について  
環境省により高病原性鳥インフルエンザの対応レベルが3に設定されたことを考慮し、調査にあたっては、調査地点間の移動の際に靴底や三脚等の消毒を実施しました。また、オオハクチョウの死亡や病変などがないか調査時に注目しましたが、特に見つかりませんでした。

【参考文献】バードリサーチ. 2019. モニタリングサイト1000ガンカモ類調査 2017/18 ニュースレター.

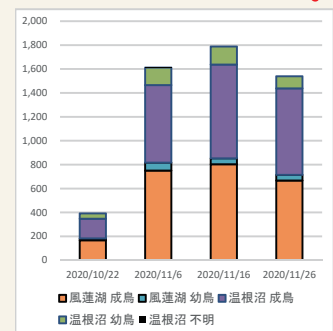
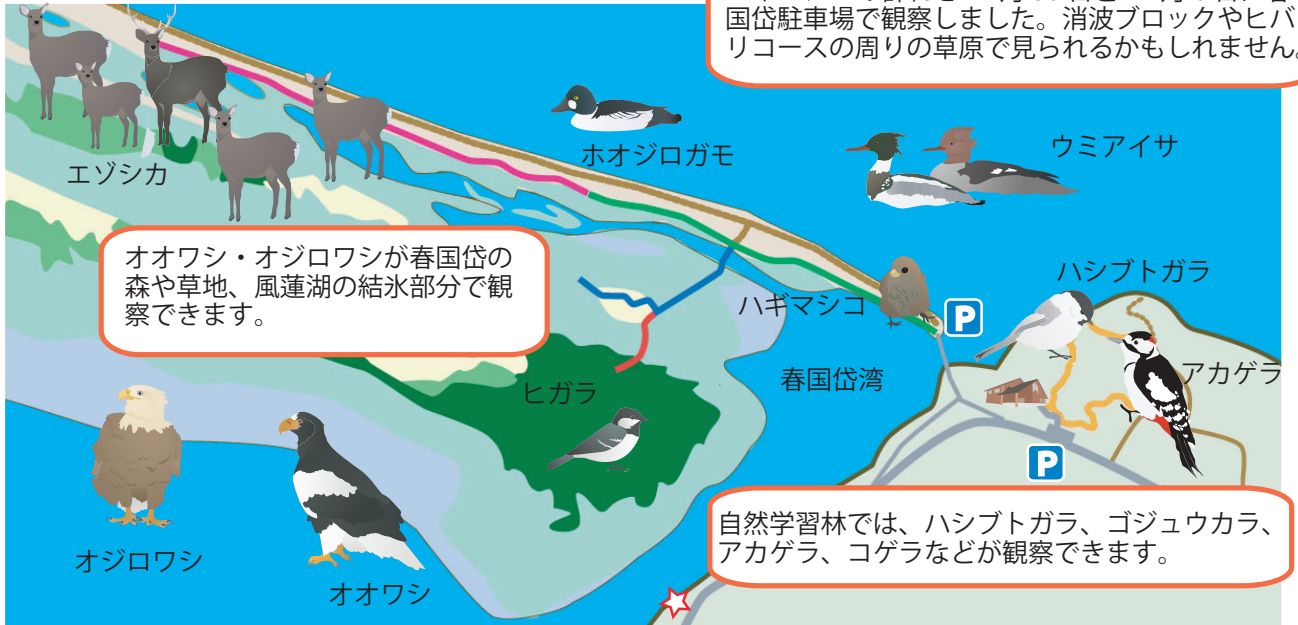


図1 2020年秋のオオハクチョウの個体数の推移



図2 2002年度～2020年度の秋のオオハクチョウ最大確認個体数の推移

# 見どころMAP



ハギマシコの群れを11月30日と12月6日に春国岱駐車場で観察しました。消波ブロックやヒバリコースの周りの草原で見られるかもしれません。

オオワシ・オジロワシが春国岱の森や草地、風蓮湖の結氷部分で観察できます。

自然学習林では、ハシボトガラ、ゴジュウカラ、アカゲラ、コゲラなどが観察できます。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 🏠 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

## 1月の見どころ予報

### 凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	上空で飛翔する様子や風蓮湖の結氷部分、春国岱の立木や海岸で休む様子がよく観察できる。氷下待網漁が始まると、おこぼれを狙って周囲に集まる。
オオワシ	○	
タンチョウ	・	風蓮湖が結氷する頃には、見られなくなるが、2017-18年は、春国岱湾の氷が厚く張らず、移動しないつがいが見られた。
オオハクチョウ	+	根室では、ほとんどが南へ渡っていくが、少数は、風蓮湖内の凍っていない水面の周りで見られる。
カモ類	○	ホオジロガモ・ウミアイサが風蓮湖や海上で観察できる。沖では、クロガモの群れやビロードキンクロ・コオリガモが見られることもある。
カモメ類	○	オオセグロカモメ・シロカモメが風蓮湖や海上でよく見られ、カモメ・ワシカモメが見られることもある。
春国岱	森	アカエゾマツコースでは、ヒガラやハシボトガラなどが観察できる。また、運が良いとクマガエラに出会うことがある。※シマエナガは、今年あまり見かけない。
	草原	ハギマシコの群れが見られるかもしれない。昨年度は、12月～3月まで見られた。また、ワタリガラスを目撃することもある。※ユキホオジロは、3年ほど記録がない。
自然学習林		ハシボトガラ・シジュウカラ・ヒガラ・ゴジュウカラ・キバシリ・キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られる。

## 冬鳥の渡来状況

今年も春国岱周辺にも冬鳥が渡ってきました。冬鳥の渡来状況とこれから観察が期待できる冬鳥についてお伝えします。

### ①オオワシ・オジロワシ

・オオワシが渡ってきました。オオワシ・オジロワシの風蓮湖での最盛期は、1月～2月の湖が結氷して氷下待網漁が行なわれる時期で、合計で約800羽が集結します。

### ②カモ類

・冬の根室湾では、カモ類がよく見られます。最も多いのは、クロガモで、50羽以上の群れが観察できます。群れの中には、ビロードキンクロやコオリガモが混ざっていることもあります。沖合にいたることが多いので、望遠鏡があると観察しやすいです。

### ③ハギマシコ

・11月30日、12月6日に春国岱駐車場でハギマシコの50羽ほどの群れを観察しました。ハギマシコは、岩場や草原に生息する鳥で、春国岱では、第1浜提の消波ブロックまたはバリコース周辺の草原で観察することが多いです。昨年度は、12月～3月まで観察されています。今年度も越冬してくれることを祈りましょう！

### 【これから期待できる鳥】

#### ◆タカ類

・昨年は、ハイロチュウヒとケアシノスリを春国岱の草原で観察しました。今年は、春国岱ではまだ情報はありませんが、11月26日に、対岸の走古丹でハイロチュウヒのオス1羽を観察しています。

#### ◆ワタリガラス

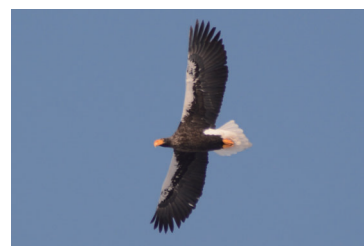
・春国岱周辺では、年明け以降に観察されることが多いです。春国岱や東梅自然学習林の上空を「コホッ、コホッ」と鳴きながら飛ぶ姿を目撃するかもしれません。

#### ◆小鳥類

・イスカを10月26日にアカエゾマツコースの終点で観察していますが、その後、情報はありません。マツの実などのエサを探しながら移動する鳥なので、また観察されるかもしれません。

#### ※ユキホオジロについて

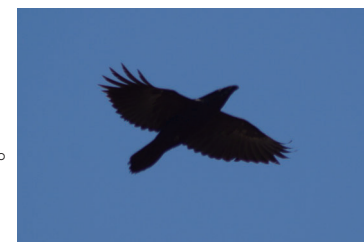
ユキホオジロは、毎年冬に春国岱に渡来していましたが、2017年11月以降、記録がありません。



オオワシ 2020年1月24日撮影



コオリガモ (中央)、クロガモ  
2020年3月31日撮影



ワタリガラス 2020年4月24日撮影

## 春国岱クイズ

今年も春国岱に現れた冬鳥のハギマシコ。漢字では「萩猿子」と書きます。「猿子」とはもともと、ニホンザルのことで、サル顔のように赤い羽毛を持つ鳥を「マシコ」と呼ぶようになったそうです。

この、名まえに「マシコ」とつく鳥は、ハギマシコも含めて根室では5種類見つかっていますが、次の「マシコ」のうち、ハギマシコとは反対におもに夏に見られるのは、どれでしょうか？

- ① アカマシコ
- ② オオマシコ
- ③ ベニマシコ



ハギマシコ 2020年3月21日撮影

## 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

### ●行事参加者募集!

#### ◆ねむろバードランドフェスティバル 2021

(根室市・根室市観光協会主催) 1月29日(金)～2月1日(月)

おまかせガイドツアー・観察会:参加者募集～1月8日(先着順)

#### 【おまかせガイドツアー】

・根室近郊の探鳥地をめぐるガイド付きのバスツアー/クルーズ。参加費 6,000～10,000円。

#### 【観察会】

・スノーシューで小さな森を歩こう」案内役:ねむろトコロジストの会

1月30日(土)・31日(日) 13:30～14:30 春国岱ネイチャーセンターで。

・風蓮湖ワシワシ観察会」案内役:ネイチャーセンターレンジャー

1月30日(土)・31日(日) 10:00～11:00 道の駅スワン44ねむろで

・いずれも参加費500円(中学生以下は無料)/事前申込制(定員20人)

・根室駅から無料のシャトルバスが利用できます。

・行事のお申込み・コンテストの応募等詳しくは⇒ <https://nemurobirdlandfes.wixsite.com/nblf2021>

#### 【オンライン講演会～野鳥保護・野鳥と親しむのタベ～】

・1月30日(土)・31日(日) 19:00～20:30 YouTube Liveにて開催予定。事前登録不要。無料で視聴できます。

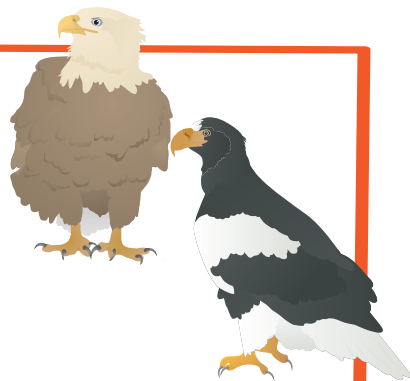
視聴方法などは公式サイトで後日発表。

#### ◆箕輪義隆さん 作品展

・会期(予定):1月14日(木)～2月28日(日)、会場:ネイチャーセンター1階

・科学イラストレーター・箕輪義隆さんの海鳥を中心とした野鳥画の作品を展示します。

(「新海鳥ハンドブック」,「鳥のフィールドサイン観察ガイド」など著書多数)



### 募集中心!

#### ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い(基本的に最終火曜日)、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象:18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む):1,000円

#### フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように...

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ③ベニマシコ 冬は主に本州以南で過ごし、根室では夏に原野で子育てをする夏鳥です。まれに冬に残っていることもあります。アカマシコは渡りの季節に出現する旅鳥、オオマシコは冬鳥です。

出典:世界大百科事典 第2版. 平凡社. /ニムオロ自然研究会. 2005. 根室市鳥類生息調査報告書.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

HP. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日:(開館時間9:00～16:30)

1月1・2・3・6・12・13・20・27日 2月3・10・12・17・24・25日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録